



ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより
学校教育目標『ひとりだちする生徒』

令和8年4月8日発行 第1号
TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

令和8年度 入学・進級おめでとうございます

校長 遠山 知子

15名の新入生を迎え、全校生徒40名で新しい市特の春が始まりました。本年度より校長を務めます、遠山知子と申します。9年前に2年間、教頭として過ごした大好きな市特に、再び戻ることができ、大変うれしく思っております。

生徒一人ひとりの「ひとりだち」のために、今年度の学校経営方針を下記のように決めました。全教職員が協力し合い、生徒一人ひとりのよさを大切にしながら、日々の指導と支援にあたっております。

今年度も保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年度 川越市立特別支援学校 学校経営方針

「生徒のひとりだちのために」～「生きる力」に直結する教育活動の推進～

多様な視点から全生徒を全教職員で育てる「チーム市特」

- 実態に即した教育課程の編成と実施(土台をつくる)
- 共通理解のもとに行う、ブレない日常生活指導(日々を支える)
- 一人ひとりのニーズに応じた自立活動の充実(個を伸ばす)

<学校教育目標(めざす生徒像)>

「ひとりだちする生徒」

- ・ 規律を守り礼儀正しい生徒(知)
- ・ あたたかい思いやりのある生徒(徳)
- ・ 健康でたくましい生徒(体)

<めざす学校像>

「生徒のひとりだちを共に育む学校」

- ・ 明るく活気に満ちた学校
- ・ 環境が整備され安心安全な学校
- ・ 家庭・地域・関係諸機関に信頼される開かれた社会の中の学校

<めざす家庭像>

「ひとりだちの歩みを共に支える家庭」

- ・ 子どものよさや可能性を大切に、見守る家庭
- ・ 自立に向けて、適切な距離感で関わる家庭
- ・ 学校とつながり、共に子どもの成長を支える家庭

<めざす教職員像>

「ひとりだちの歩みを共に支える教職員」

- ・ よさを生かし合い、協働する教職員
- ・ 特別支援教育の専門性を持ち、確かな学力と個々の可能性を育む教職員
- ・ 家庭・地域・関係諸機関と共に協力し、信頼される教職員

<本年度の重点>

合言葉は「ふやす かためる つなぐ」

- 【ふやす】 対話を通して、自己理解と表現を育むかわりの充実(引き出しをふやす)
- 【かためる】 わかる・できるを実感し、力が身につく授業の充実(学びの土台をかためる)
- 【つなぐ】 自分らしい生き方、就労の実現につながる進路指導の充実(社会につなぐ)



本校マスコットキャラクター
リッキー